



・はたらく大人と出会う会 ～決して強くなれない自分の心～

11月のゲストは、本プログラムに二度目の登壇となる弁護士の松岡太一郎氏でした。飾らないお人柄でご自身について語り、若者たちの声に耳を傾けて下さいました。お忙しい中、執筆を快諾して下さいました記事をご紹介いたします。



はたらく大人と出会う会に参加して 松岡太一郎

「自分のために涙してくれるひとがいる。」

参加者のわかものの方のこのお言葉をお聴きしたとき、自分や他者のこのころにとことん寄り添い向き合ってきたらなければ出てこないお言葉だと思いました。それまでのその方の語りから素直にそう思いました。

今回のテーマはととてもとても重いテーマで暗いと評価する人もいるでしょう。

しかし、私は、暗いとか明るいとかは1つの基準でしかなく、なにより私自身、参加させていただき本当によかったと思っています。皆さんとの対話の中で、私自身、わかもの皆さんほどに自分のところに真摯に寄り添って向き合っているだろうか？自分に問いかけをしていました。私は、皆さんほど十分に自分のところと対話していないと思います。わかもの皆さん、私の拙い話を聴いてくださりありがとうございます、そして、私に貴重なお話をしてくださりありがとうございます。

以前、ある方から、「ありがとう」の反対は「当たり前」という言葉だと聞いたことがありました。今回の皆さんと私の出会いは当たり前ではなく、貴重なご縁の積み重ねの果ての有難い出会いでした。素敵な出会いをありがとうございます。

2年前の企画のとき、私が当時の皆さんに一番お伝えしたかったのは、出会いこそ、人生の宝探しであるということでした。今回も、私は、宝を探し出せたのだと思います。



・おしえてメンバー先生！ @鷺宮区民活動センター

まごころドーナッツでは、中野坂上駅を利用しづらい方のために、鷺宮区民活動センターと新井区民活動センターの和室で「出張まごころドーナッツ」を開催しています。月1回ではありますが、出張の日は、畳の部屋で足を伸ばして、いつもとは違った雰囲気を味わえます。

今回は、定番プログラムになって久しい『おしえてメンバー先生！』の出張バージョンが、鷺宮区民活動センターで初めて行われました。

この日、講師役を務めてくれた二人のメンバー先生の感想を紹介いたします。

～フィンランド語～

久しぶりの、教えてメンバー先生を務めることに。前回と同じフィンランド語でしたが、今回は「文法(かなり初級)」にフォーカスしました。

一応は原稿があったのですが、パニックになって見せる順番を間違えるという、プチハプニングも。

ただ、スタッフさんからは「3時間くらいでやるような、濃い内容で良かったよ」と。1時間って、結構短い。

で、もう1人のメンバーさんの話で印象深かったのは「ボランティアに否定的だったのに、ボランティアに参加している」ということでした。「否定ばかりではなく、ちゃんと経験しているのが素晴らしいな」と思いました。

自分の好きなことを堂々と話せるのは、やはりいいですね。今度は2時間ぶっ通しでやってもいいかな？冗談ですけど。

(メンバー nez)

～ボランティア～

自発的な申し出を受け取って頂き、スタッフさんにこのような授業の場を作ってもらいました。

全体で5名と少ないながらも議論、話し合い、多様な意見などがあり、想像とは違った意味での面白さが生まれました。

フィンランド語、本来触れる事の少ない言語の専門的知識を得れたり私自身としてはボランティアという題材を通じ、実はメンバー間の話が膨らみ過ぎて予定していた内容の五割程度しか伝えられてないのですが歴史的背景または自分自身を整理する貴重な時間でした。各々が目的意識を持ち、学びの場、誰かに教える場として活用すると、新たな発見があるかもしれません。(メンバー K)



・町歩き ～文化・芸術散策～

10月26日(土)、「文化・芸術散策」と題して、御茶ノ水駅や神保町の周辺をめぐる街歩きを楽しみました。(メンバー、スタッフ合わせて7人)

神保町では、年に一度の「神田古本まつり」と「神保町ブックフェスティバル」が開催されていました。

後者は200を超える出版社が参加する大規模なブックイベントで、メインストリートにはずらりと本の露店が並び、見渡すかぎり、人でいっぱいでした。「古本祭り」では、あちこちの歩道に多くの本棚が並び、道行く人々が足を止めてじっくりと古本を見ていました。

明治大学博物館では、NHKの連続テレビ小説「虎に翼」の展覧会や、「女性法曹養成機関のパイオニア」というテーマの展示が開かれていました。また、お茶の水周辺には「楽器店街」と呼ばれるエリアがあり、約50軒の楽器店が軒を連ねています。



多くのお客さんのなかで押し合いへし合いしながら、わたしはなぜか、自分が初めて上京したときのことを思い出しました。

わたしの地元は、電車が1時間に1本しかないような田舎でした。自分は作家になるという夢もっていたものの、地方ではなかなか同士も見つからず、多くの出版社やイベントが豊富な東京を、遠くからうらやましく眺めていたものです。

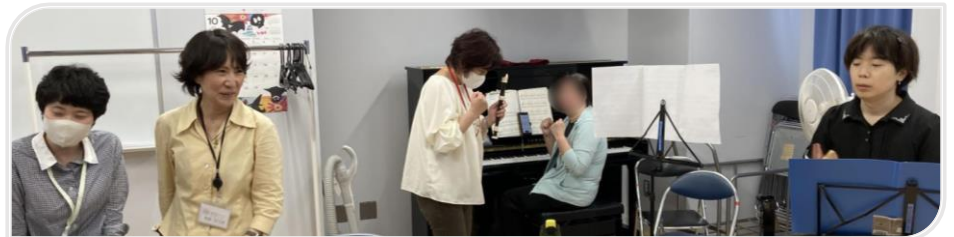
20代で、えいや、と地元をとびだして東京に来てから、多くの作家さんや編集者さんたちとお会いしました。そのことに後悔はありませんが、いざ上京してみると、あ那时的自分のハングリーさを忘れそうになります。こうして文化にたくさん触れ合えることが当たり前ではないということ、つい忘れてしまいそうになります。

御茶ノ水駅の楽器エリアの楽器店では、多くの若い人々が、真剣な表情で楽器を手に取っていました。きっとわたしと同じような境遇の人も、たくさんいるのだと思います。熱中する人の熱気とパワーにあてられて、すこし身震いをした街歩きでした。

(メンバー 黒田)

・音楽の時間 @野方区民活動センター

10月15日(火)、いつもまごころドーナッツにて実施している「音楽の時間」を野方区民活動センター(以下、野方区活)の音楽室にて行いました。



当事業として野方区活を利用するのは初めてです。いつもよりも安心して音が出せる空間ということで、参加者はエレキギターやエレキベース、アンプなどを持ってきて、思う存分音を出していました。音楽室に置かれていたピアノを弾くメンバーもいました。やはり音楽専用の部屋はいいですね。

当日は今回の実施に協力してくださった北部すこやか福祉センターの職員さんのご参加をはじめ、野方区活の職員さん、活動に関心を持ってくださる地域の方が見学に来られ、とても賑やかな空間となりました。野方エリアの方々と、これからもっと交流していきたいです。

(スタッフ 田中亮太)

中野区若者フリースペース まごころドーナッツ

- 【所在地】** 〒164-0011 東京都中野区中央1-41-2
中野区子ども・若者支援センター(愛称:みらいステップなかの) 4階
東京メトロ丸ノ内線・都営地下鉄大江戸線「中野坂上」駅A1出口から徒歩2分
- 【電話】** 03-5937-3664
- 【開所時間】** 火曜日から土曜日(祝日、年末年始を除く)11:30~19:00
※毎月2回、不定期で閉所日があります。

プログラムスケジュールや最新情報は、HPにてお知らせしていきます。→

